

複数施設研究用

2023年3月27日

研究課題 小児腭腫瘍に関する全国アンケート調査に関する情報公開

1. 研究の対象

2000年1月1日から2021年12月31日の期間に国内小児外科学会認定施設・教育関連施設(A・B)にて腭腫瘍に対して手術を施行した方(0歳から18歳未満)を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的

小児腭腫瘍は非常にまれで、本邦における臨床像をまとめた報告例がほとんどありません。本邦における臨床像をまとめることで、疾患頻度、治療方法、治療成績、予後を把握することができます。また各施設で統一されていない治療方法、フォローアップの方法を検討することができます。

研究方法

国内日本小児外科学会認定施設・教育関連施設(A・B)に小児腭腫瘍に対するアンケート調査(後ろ向き研究)を行います。各施設における診療録などの既存資料から症例の概要、手術項目、予後について評価します。調査用紙を名古屋大学小児外科へ郵送してデータ管理・集計を行います。

研究期間

実施承認日～2027年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

各施設から提供された調査票の内容を使用します。内容として、年齢、性別、腫瘍の病理診断、病変部位、腫瘍径、局在、診断契機、化学療法、術式、生存の有無、再発の有無、再発部位、再発治療、最終転帰確認日が含まれており、個人が特定されるよう情報は含まれません(氏名、住所など)。

4. 外部への試料・情報の提供

予定はありません

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 小児外科学 牧田智

研究協力施設：千葉大学医学部附属病院小児外科を含む日本小児外科学会認定施設および教育関連施設(A・B)約190施設

(<http://www.jsps.or.jp/wp-content/uploads/2022/01/shisetsumeibo2022.pdf>)

(アンケート依頼先) (既存情報の提供のみを行う機関)

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学研究院小児外科カンファレンスルーム(医学部本館8階841室)の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/pediatric-surgery/patient/research/>)」

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677
千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
千葉大学医学部附属病院小児外科
医師 小松秀吾
043(222)7171 内線6934

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：小児外科 教授 菱木知郎